# ガーデンIRORI

## 取付・取扱説明書

このたびは、日本興業のガーデンIRORIをお買い上げいただきありがとうございました。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

### 施工の前に

- 設置場所の確認
  ・施工場所に正しく収まるかどうか確認してください。
- 梱包明細書に記載の部材、部品がすべて揃っているか確認してください。
- 製品の施工は、必ずこの「取付・取扱説明書」にしたがってください。
- この「取付・取扱説明書」は、施工終了後お客様にお渡しください。

### 施工上のご注意

- 運搬、施工時は製品をぶつけないようにしてください。
- 製品を横に倒して長時間、地面等に放置しないでください。
- 製品の改造はおこなわないでください。
- 施工時に製品に付着したモルタルやコンクリート等は、表面に傷をつけないように速やかに清掃してください。
- 施工終了後は、ネジ類の締まり具合をもう一度確かめてください。

### 使用上のご注意

■警告及び注意表示

| | | |
|---|---|---|
| ⚠ | 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ | 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

■絵記号の意味

| | | |
|---|---|---|
| 🚫 | 禁止 | この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないでください。 |
| ❗ | 厳守 | この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施してください。 |
| ⚠ | 注意 | この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取り扱いに注意してください。 |

#### ⚠ 警告

| | |
|---|---|
| 🚫 禁止 | ● 天板の上に人が乗らないでください。<br>● 本来の用途以外では使用しないでください。<br>● 炉部分（大谷石の内側）以外で、火をおこさないでください。<br>● 製品を屋内や閉鎖された場所で使用しないでください。<br>● 燃えやすい物の近くで使用しないでください。<br>● 大量の炭や薪をくべて、火勢の強い状態で使用しないでください。<br>● 製品を組み立てた状態で持ち上げたり、移動させないでください。 |
| ❗ 厳守 | ● 製品重量に耐えられる場所に設置してください。<br>● 付属のゴム脚を使用して、製品と床面との間に隙間を設けてください。<br>● 完全に火が消えるのを確認するまで、目を離さないでください。<br>● 乾燥している日や風の強い日は、火の取扱いに十分注意してください。 |

#### ⚠ 注意

| | |
|---|---|
| 🚫 禁止 | ● 製品に直接火のついた炭を乗せないでください。<br>● 製品は耐熱仕様ではありません。フライパン、鍋などの高温のものを直接置かないでください。<br>● 研磨剤の入った洗剤や、金属製ブラシ、スチールウールなどで磨くと表面にキズがつく場合があります。 |
| ❗ 厳守 | ● 専用フタの開け閉めはゆっくりとおこなってください。<br>● 製品底面に水抜き穴があります。設置場所は、雨水などが流れ出しても良い場所に設置してください。<br>● 製品はコンクリートを塗装したものなので、砂粒や素焼きの容器などでこすれるとキズがつく場合があります。<br>● 汚れは中性洗剤を使用して、よく水洗いしてください。（シンナー、ベンジン類は使用しないでください。） |

### 梱包明細書

ガーデンIRORI 900サイズ

| 名称 | 数量 | 重量 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 天板A | 2 | 14kg/基 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 天板B | 2 | 7kg/基 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 本体A | 2 | 19kg/基 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 大谷石 | 4 | 7kg/枚 | 天然大谷石 |
| 不織布 | 4 | - | ポリエステル |
| 耐火骨材 | 1 | 約4kg | 約5リットル |
| ゴム脚 | 8 | - | 軟質ネオプレンゴム |
| 専用フタ | 1 | - | 2枚組み GRC製・アクリル樹脂塗装 |
| 連結プレート | 6 | - | SS400・亜鉛メッキ |
| 連結ボルト類 | 12 | - | SUS製　M10×20六角ボルト |
| | 12 | - | M10ワッシャ |

ガーデンIRORI 1200サイズ

| 名称 | 数量 | 重量 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 天板A | 2 | 14kg/基 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 天板C | 2 | 12kg/基 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 本体B | 2 | 26kg/基 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 大谷石 | 2 | 7kg/枚 | 天然大谷石 |
| | 2 | 11kg/枚 | |
| 不織布 | 4 | - | ポリエステル |
| 耐火骨材 | 1 | 約4kg | 約5リットル |
| ゴム脚 | 8 | - | 軟質ネオプレンゴム |
| 専用フタ | 1 | - | 3枚組み GRC製・アクリル樹脂塗装 |
| 連結プレート | 6 | - | SS400・亜鉛メッキ |
| 連結ボルト類 | 12 | - | SUS製　M10×20六角ボルト |
| | 12 | - | M10ワッシャ |

現場調達品

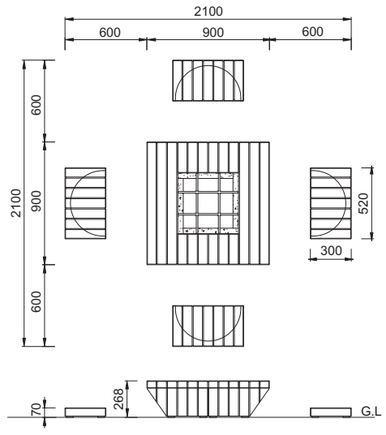
| 名称 | 数量 | 仕様 |
|---|---|---|
| 砂 | 900サイズ　：約11リットル | 川砂や海砂など粒子が細かく、草根や肥料など異物の混入がないもの |
| | 1200サイズ：約20リットル | |

### 施工の手順

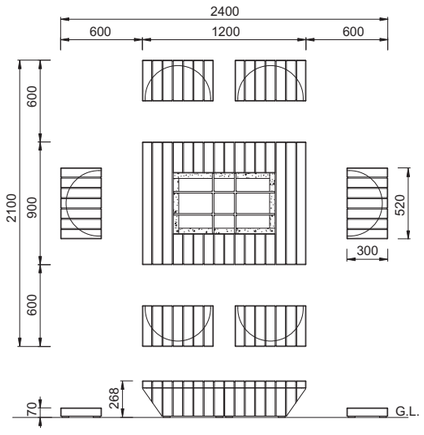
#### 1 据えつけ図

・IRORIスツールは別売りです。

900サイズ　1～4人用




1200サイズ　2～6人用

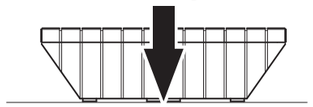


# 施工の手順（つづき）

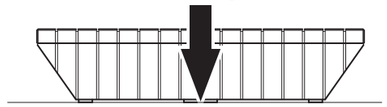
## 2 設置場所の確認

製品を組んだ状態で、900サイズは約138kg、1200サイズは約185kgあります。
⚠製品重量＋使用する人間の体重に耐えられる場所に設置してください。
⚠デッキ上やベランダなど設置場所によっては適切な補強が必要な場合があります。
⚠炉の底には雨水等を抜くための水抜き穴があります。雨水等が流れだしてもよい場所に設置してください。

●900サイズ　約138kg

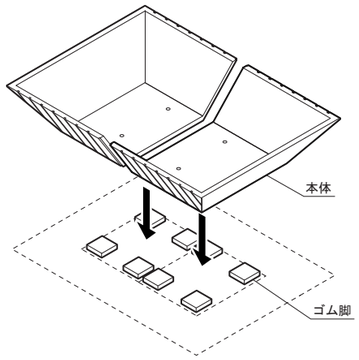


●1200サイズ　約185kg

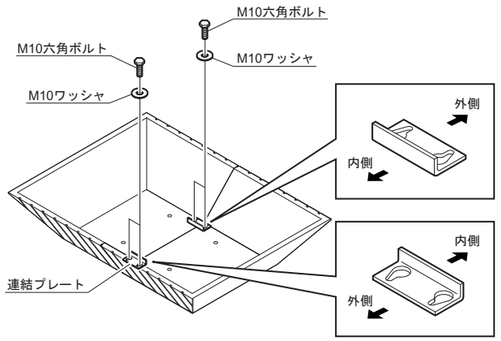


## 3 本体の組み立て

① 付属のゴム脚を、製品と設置面の間にはさみ、本体を設置場所に仮置きします。

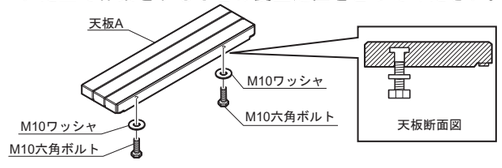



② 付属の連結プレートと連結ボルトで、本体どうしをしっかりと固定します。
⚠連結プレートの向きに注意してください。
③ ゴム脚のズレやがたつきがないか確認してください。

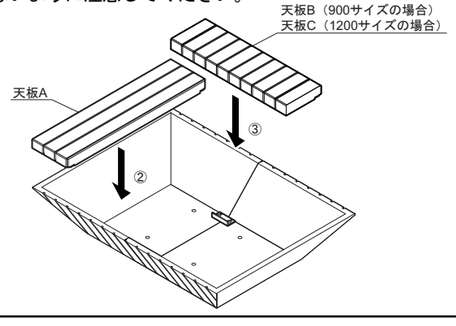



## 4 天板の組み立て

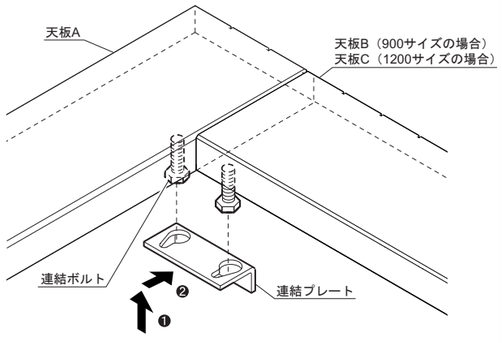
⚠天板の組み立ては必ず本体のフチに仮置きした状態で行ってください。
① 天板Aと、天板B（900サイズの場合）または天板C（1200サイズの場合）の裏のインサートナット位置に連結ボルト類を抜けない程度に軽く締め付けます。
⚠ 組立時に製品にキズがつかないよう、ダンボールを敷いた上で作業をするなどの養生処置をとってください。



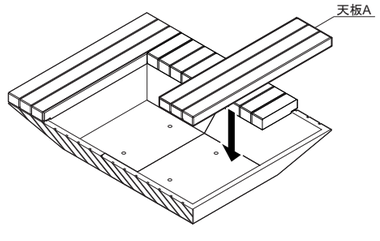

② 天板Aを本体のフチに載せます。
③ 天板B（900サイズの場合）または天板C（1200サイズの場合）を本体のフチに載せます。
⚠天板を固定するまでに、本体の中に落としてキズや破損しないように注意してください。




④ 天板Aと、天板B（900サイズの場合）または天板C（1200サイズの場合）の裏の連結ボルトに連結プレートを❶、❷の順に取り付けます。
⚠連結プレートの向きに注意してください。

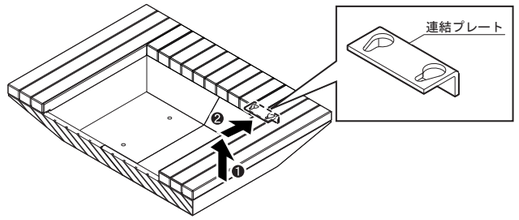



⑤ 天板Aを本体のフチに載せます。
⚠天板Aを固定するまでに、本体の中に落としてキズや破損しないように注意してください。

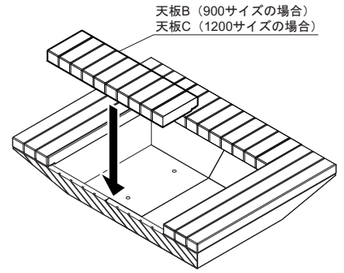



## 4 天板の組み立て（つづき）

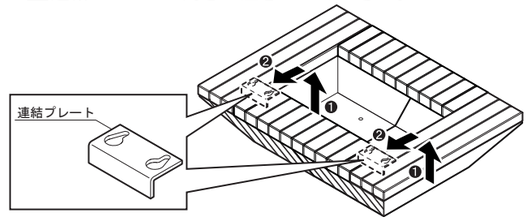
⑥ 手順④と同様の手順で連結プレートを取り付けます。
⚠連結プレートの向きに注意してください。



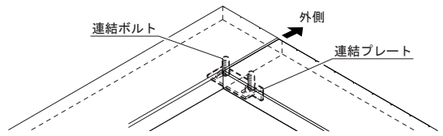

⑦ 天板B（900サイズの場合）または天板C（1200サイズの場合）を本体のフチに載せます。
⚠天板B（900サイズの場合）または天板C（1200サイズの場合）を固定するまでに、本体の中に落としてキズや破損しないように注意してください。



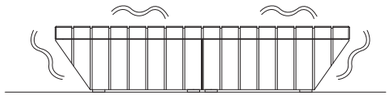

⑧ 手順④と同様の手順で連結プレートを2個取り付けます。
⚠連結プレートの向きに注意してください。




⑨ ゴムハンマーで全ての連結プレートを外側方向に打ちつけます。
⑩ 連結ボルトの本締めを行います。

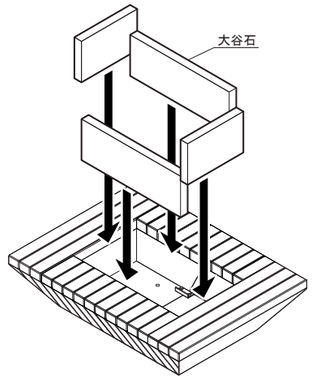



⑪ 本体と天板にゆがみやがたつきが無いことを確認してください。

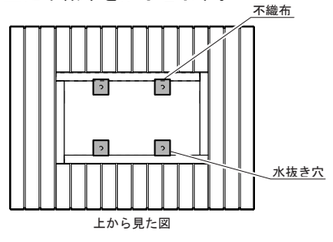


## 5 炉部分の組み立て

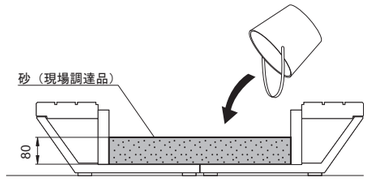
① 付属の大谷石を図のように組みあわせて炉をつくり、本体に取り付けます。
⚠大谷石は割れやすいので注意してください。



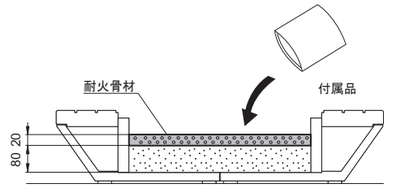

② 水抜き穴の上に不織布をかぶせます。




③ 炉の中に砂（現場調達品）を入れます。
⚠遮熱の為、内側底より高さ80mm以上確保してください。
砂は、900サイズで約11リットル、1200サイズで約20リットル必要です。
⚠不織布がずれないよう、砂は静かに投入してください。




④ 砂の上に付属の耐火骨材を敷き、平らにならします。




やけどや火の元に注意して、囲炉裏ならではの調理や食事を楽しんでください。

● 製品の仕様、内容等につきましては、品質改良の為、予告なしに変更する場合があります。

日本興業株式会社
05.04